

三者ニ合理的ニ配分スベキ國家資金動員計畫ヲ設定スルトアルモ國民經濟ノ總生産額ハ財政産業及國民消費ニ対スル資金配分状態ト無關係ニ定マルモノニ非ラザルヲ以テ右總生産額ヲ主体トスル國家資本力ヲ独立ニ把握シ次ニ之カ配分計畫ヲタツトイフコトハ出来ヌト考ヘラレル 尤モ要配分資金カ果シテ動員調査可能ナリヤ否ヤヲ検討スルコトハ必要ナルヲ以テ此ノ検討ニ用フル爲メ國家資本力ヲ測定把握スルコトハ必要ナリ 且ツ國家資本力ハ如何ニシテ把握シ且ツ測定把握スヘキデアラウカ（配分計畫ト結合ハシナカラズ總生産額ヲ主体トスル國家資本力ヲ測定把握スルトイフコトハ考ヘラレヌテハナイカ之ニ難シイ計算カ併ニ果シテソノ結果ノ充分ナル信頼性ヲ獲得シ得ルカトウカ疑問ノヤウニ思ハレル）

三資金計畫ハ固ヨリ國民經濟ニ可及的悪影響ヲ及ボササルモノトシテクテラレ  
 ネハナラヌ 故ニ考慮セラルル資金計畫ノ國民經濟ニ及ボスベキ影響如何

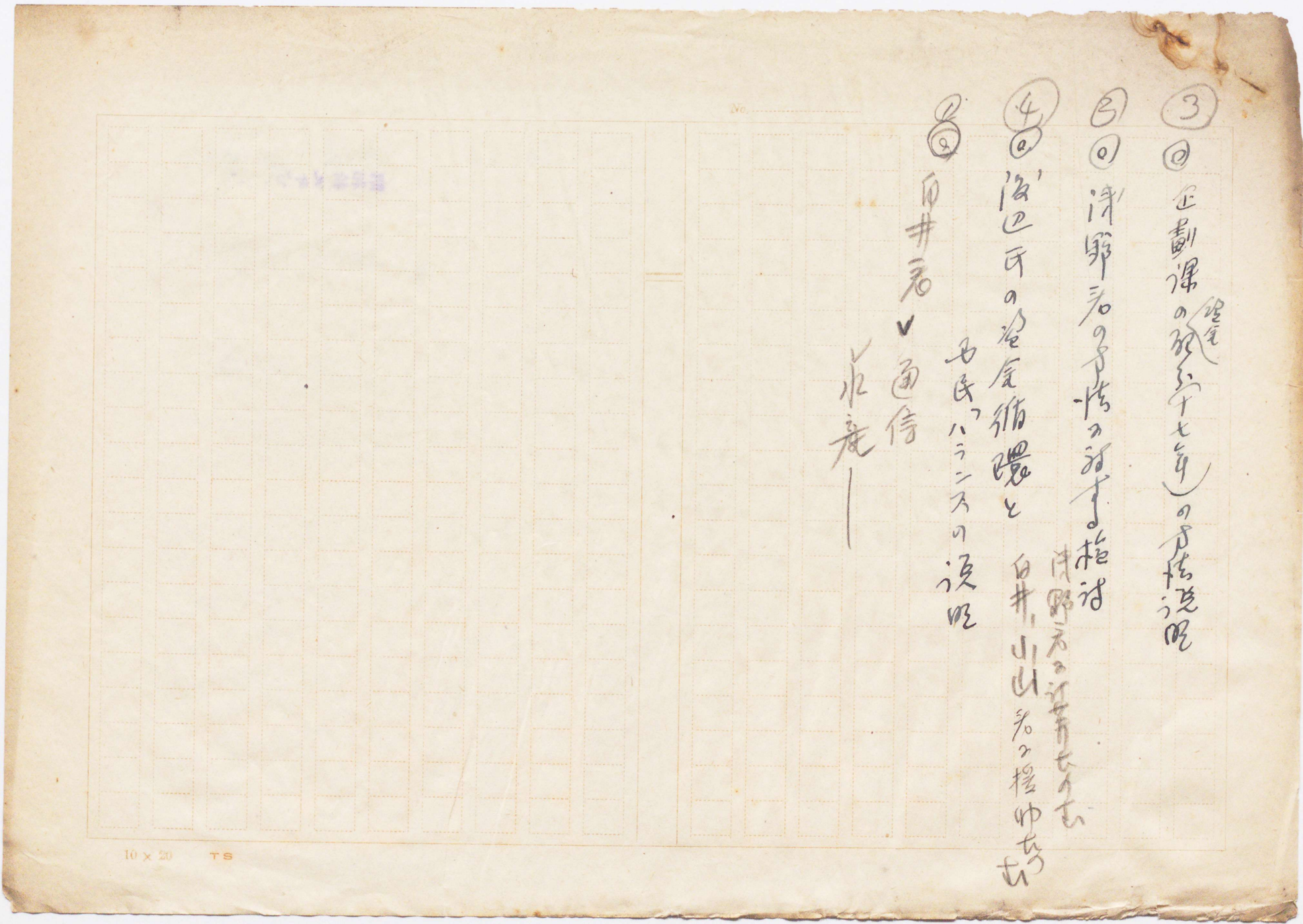


ヲ知ルコトハ計畫自体ヲタツル上ニ於テ必要ナルコトデア  
 ル此ノ影響ヲ知ル  
 爲ニ着目セバナラヌ各計畫ニ於ケル急所ハ何デア  
 ルカ

四. 資金計畫ニ含マレル各計畫相互間並ニ各計畫ニ含マレル項目相互間ニハ一  
 般ニ連関カアルガ此ノ連関ヲ明ラカシメテ生ズヘキ可能性ナル計  
 数上ノ  
 重複ヤ脱落ヲ避ケルコトガ必要デア  
 ル(少クモカウイフモノノ存在ヲ明  
 ラカ  
 ニ知ツテ計畫表ヲ作成スルコトガ必要デア  
 ル)此ノ爲ニハ上記ノ連関性ヲ  
 明確ニ把握セバナラヌガ此ノ連関性ノ重要ナルモノ並ニ之ニヨ  
 ツテ生ズヘキ計  
 数ノ動キノ把握方如何

五. 資金計畫中ニハ物ト金トヲ見合ハシタル計畫表ヲモ含マ  
 レルコトガ望マシ  
 イカ之ハ如何ナル形及ビ方法ニ於テ可能デア  
 リ其ノ目的ニ適フデア  
 ララカ





③ 企画課の<sup>理</sup>成(十七年)の<sup>理</sup>格<sup>理</sup>送<sup>理</sup>明

⑤ 清野君の子格の<sup>理</sup>格<sup>理</sup>送<sup>理</sup>明

④ 海辺氏の<sup>理</sup>格<sup>理</sup>送<sup>理</sup>明と  
白井山山君の<sup>理</sup>格<sup>理</sup>送<sup>理</sup>明

② 白井君の<sup>理</sup>格<sup>理</sup>送<sup>理</sup>明

水産

10 x 20 TS





大日本帝國政府

白井委員 交通

渡辺委員 護照

白井委員 控案

(國定規格B5 182 × 257 糎)





大日本帝國政府

上田  
牧師まじり

一、政府の目的の回復

(生産と消費) 生活と消費の回復

二、各地方の計画の推進

行政的の推進

三、経済計画の目的

四、~~経済~~ 経済力を加増する

五、各地方の発展

六、社会の安定

七、教育の普及

八、国防の増進

(國定規格5二×三三毛紙)



大日本帝國政府

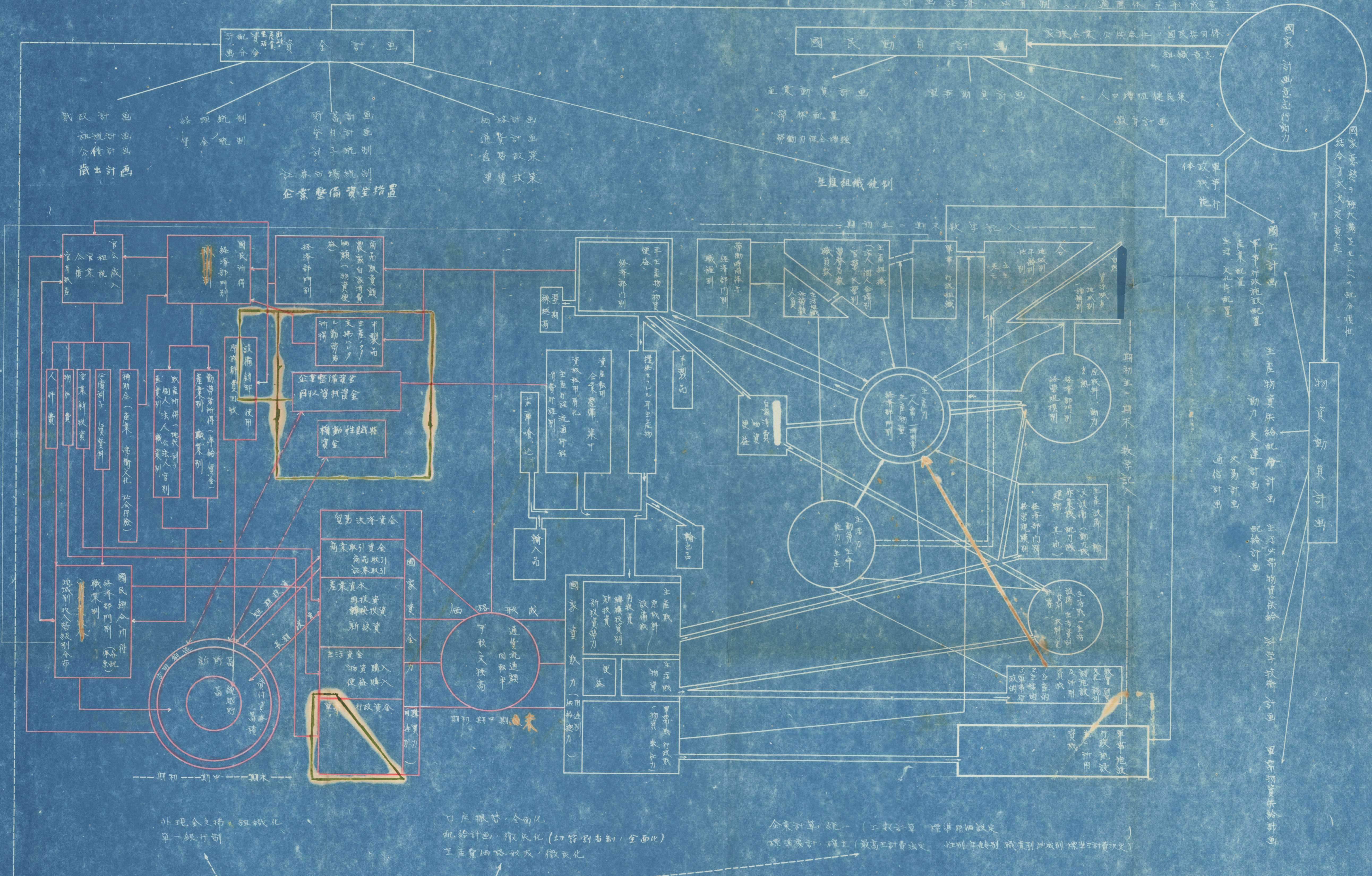
(國定規格B5二六×三三毫米)



赤線 交通商運、貨幣、流  
 物価のコントロール、流  
 人のコントロール

—— 現実的關係、作用  
 - - - 理想的關係、作用  
 虚線は、不可分のパラメータを意味

計画経済、公有制、適應体系形成意志



国家資金計画、循環、(発展)  
 国家資金計画、全体経済的地位

昭和十八年十月廿八日  
 渡辺多恵子稿  
 (昭和十八年十月廿八日)

非現金市場、組織化  
 単一銀行制

口産振替、全面化  
 配給計画、徹底化(切符割当制、全面化)  
 生産費削減、徹底化

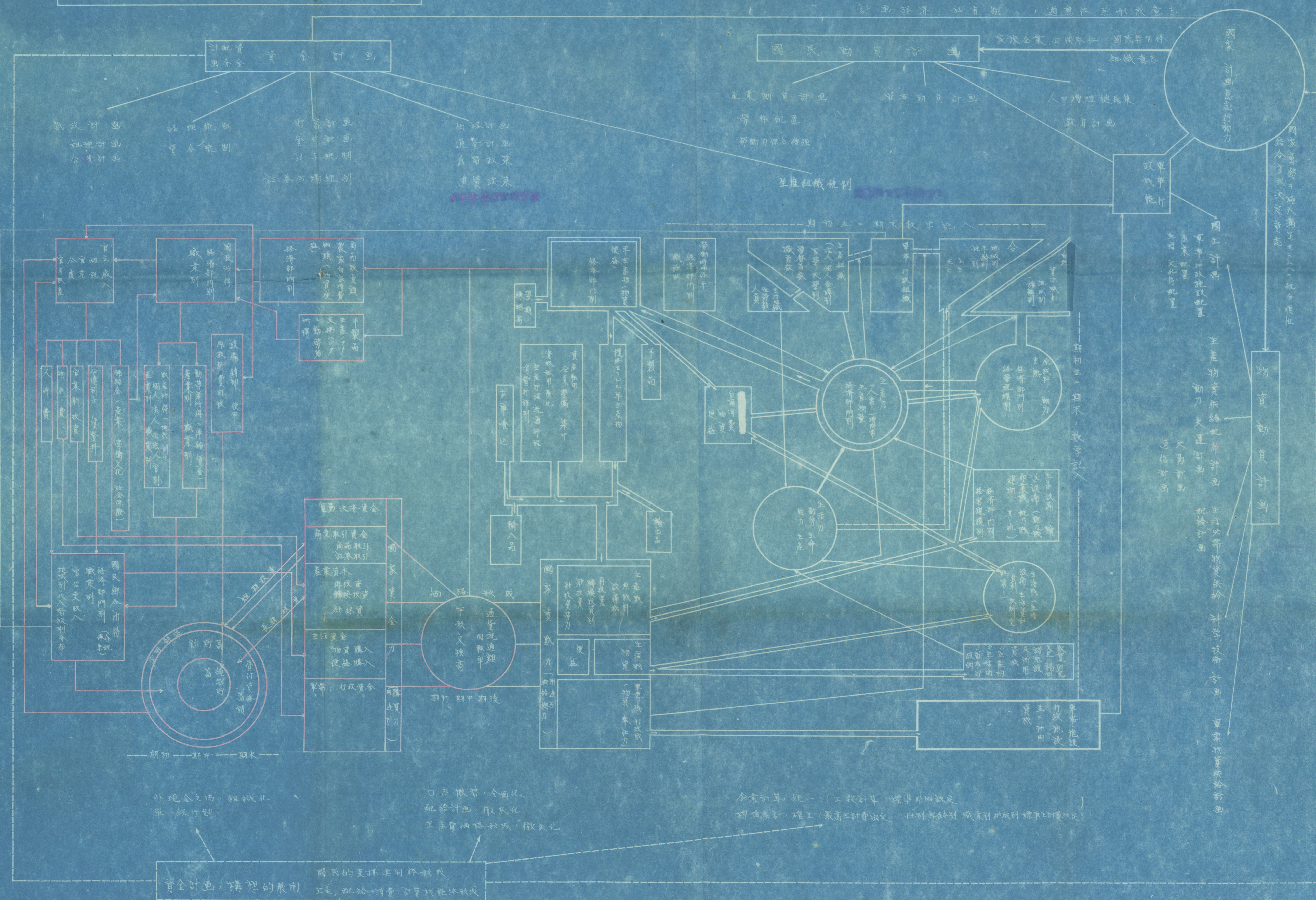
国民の支援共同体制形成  
 生産、配給、消費、計算機能形成

企業計算、統一 (工数計算、標準原価設定)  
 標準原価計、確立 (最高工数計法定、性別、年齢別、職業別、地域別、標準工数計法定)





赤線 文換酒匯、貨幣、流、  
 物的アルモノ、流、  
 人的アルモノ、流、  
 现实的關係、作用  
 理想的關係、作用



國家資金、形成、循環  
 國家資金計畫、全休經濟的地位

昭和十八年十一月廿八日  
 以國家資金研究  
 渡辺亨惠手稿





國家資金力(所得+費用+信用創設)形成循環(草案)

